



No.93
2018.6.12

SEA NEWS



- ① … 東京国際大学FCが初優勝～平成30年度彩の国カップ第23回埼玉県サッカー選手権大会～第12回「埼玉県第4種サッカーリーグ戦・選手権大会」開幕
- ② … 公益財団法人埼玉県サッカー協会「功労賞」授賞式開催
- ③ … 会長退任のご挨拶 会長 横山 謙三
- ④ … 前3種委員長・柏 悦郎氏インタビュー
- ⑤ … 技術委員会より 4種委員会キッズ会議報告
- ⑥ … 大会記録●県内大会 1種・2種・女子 大会記録●県外大会 1種・2種
- ⑦ … 大会記録●県外大会 2種・3種・4種・女子
- ⑧ … 大会記録●県外大会 女子・シニア インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

東京国際大学FCが初優勝 ～平成30年度彩の国カップ 第23回埼玉県サッカー選手権大会～

5月12日にNACK5スタジアム大宮で開催された「平成30年度彩の国カップ第23回埼玉県サッカー選手権大会」決勝は、3年連続で東京国際大学同士の対戦となりました。4大会連続優勝を目指す、関東大学リーグ1部に所属する東京国際大学体育会サッカー部が先制して1対0で折り返しましたが、後半に関東リーグ2部所属の東京国際大学FCが逆転に成功し、結果2対1で東京国際大学FCが初優勝しました。

東京国際大学FCは、埼玉県代表として「天皇杯JFA第98回全日本サッカー選手権大会」に出場し、1回戦は神奈川県代表のYSCC横浜(J3)と対戦しました。

●準決勝

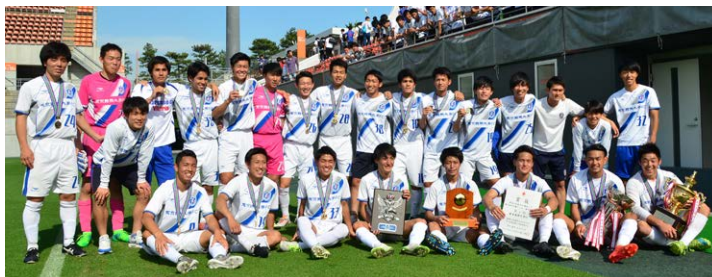
東京国際大学体育会サッカー部 3-0 平成国際大学サッカー部
城西大学体育会サッカー部 3-4 東京国際大学FC

●決勝

東京国際大学体育会サッカー部 1-2 東京国際大学FC



決勝 東京国際大学体育会サッカー部 vs 東京国際大学FC



優勝 東京国際大学FC



準決勝 東京国際大学FC vs 城西大学



準決勝 東京国際大学 vs 平成国際大学

第12回「埼玉県第4種サッカーリーグ戦・選手権大会」開幕

4月8日に、今年で12回目となる「埼玉県第4種サッカーリーグ戦・選手権大会」が開幕しました。今年は475チームが参加し、54ブロック(含む少女1ブロック)に分かれて年間を通じて2回戦総当たりのリーグ戦を戦います。各ブロックの1位が11月から開催される「4種選手権大会」に出場します。

子供たちの成長と共に、本大会が盛り上がることを願っています。



公益財団法人埼玉県サッカー協会「功労賞」授賞式開催

5月28日、ラフレさいたまにおいて今年度第1回理事会と功労賞授賞式を開催しました。功労賞を受賞された皆様には、改めて感謝を申し上げます。今後も埼玉サッカーのためにご尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



祝辞を述べる横山謙三会長



田代英夫さん

石橋勝司さん



西和彦さん

野澤昌弘さん(野澤美佐枝様)



浦和レッドダイヤモンズ
淵田敏三社長

浦和レッドダイヤモンズレディースジュニアユース
神戸慎太郎監督



長嶋玲奈さん

南萌華さん



高橋はなさん

南萌華さん 高橋はなさん 長嶋玲奈さん

No.	受賞者氏名 受賞チーム名	受賞理由
1	田代英夫	長年に渡り様々な立場から、埼玉県及び茨城市のサッカー普及と後進の指導者育成に多大なる貢献し、サッカー界の発展と飛躍に尽力した。
2	石橋勝司	現役選手でありながら、指導者・審判活動をはじめ、熊谷市体育協会などで後進を育てるなど、埼玉県北部地域及び熊谷市のサッカー発展に多大なる功績があった。
3	西和彦	2級審判員として活動する他、2級審判インストラクターとして審判員の発掘・育成・強化に尽力した。また、審判委員会指導者部会員として、幅広い分野で埼玉県の審判員のために尽力した。
4	池田幸二	O-60リーグの創生・リーグ戦の確立をした。また、埼玉シニア60の監督となり、選手選考・運営を行いながら、全国シニアサッカー大会本大会でチームを2度準優勝に導いた。
5	野澤昌弘	事務局会計担当・副理事長・副会長・会長と、様々な立場で埼玉県社会人サッカーに尽力した。また、関東社会人サッカー連盟の理事として、埼玉県・関東の社会人サッカーの発展に貢献した。
6	日野聡	日本代表(なでしこ)への選手輩出と今年で24回を迎えたためめまカップに第1回より運営等でご尽力いただいた。
7	菅勝行	指導者の傍ら、様々な立場から4種委員会事業の運営をはじめ、地域交流を積極的に推進するなど、長きに渡って埼玉県のサッカー及び少年サッカーに多大なる貢献をした。
8	浦和レッドダイヤモンズ	AFCチャンピオンズリーグ2017 優勝
9	浦和レッドダイヤモンズレディースジュニアユース	全日本女子ユースU-15サッカー選手権大会 優勝
10	長嶋玲奈	AFCU-19女子選手権中国2017大会 優勝
11	南萌華	AFCU-19女子選手権中国2017大会 優勝
12	高橋はな	AFCU-19女子選手権中国2017大会 優勝
13	長野風花	AFCU-19女子選手権中国2017大会 優勝



星野隆之副会長による乾杯



会長退任のご挨拶

会長 横山 謙三



日頃より当協会にご支援を賜り、誠にありがとうございます。私はこの4年間、大変多くの皆様のご理解とご協力をいただき、ここまで協会運営に携わって参りました。あらためて御礼申し上げます。

現在、日本のスポーツ界の多くの競技団体で不祥事が続き、社会的信頼度が落ちているように感じられます。スポーツモラルの著しい低下だと思えます。

こうした問題はスポーツの特性が理解されていないことが原因ではないでしょうか。例えばスポーツの本質のひとつに、『上手になりたい』一念で目標に向かって向上する、それが達成できたときの喜びが「活気」を生みます。また相手や審判がいるからスポーツができる、成り立つことへの感謝が「優しさ」や「潤い」を生みます。こうした本質があるからこそ、スポーツの社会貢献ができます。

競技にはルールが定められており、初めからルールを守るといふ本質があります。これは社会秩序を遵守することに繋がっているはずで、またルール遵守とともにスポーツで大切なのは「規範」であり、「スポーツモラル」です。

昨年来SFAは『試合中 文句を言わない!』という行動規範を大々的に掲げ、浸透を図って参りました。相手に不快感を与えない、というモラルを訴えています。文句を言わなくてもプレーそのものは激しくできますし、戦術・技術に何も影響しません。文句は一時の感情が発せられた言葉にすぎないのです。選手は審判の判定に文句を言うことなく、全力でプレーすること。審判は選手や観客から文句を言われぬようなジャッジをすること。指導者は審判や相手選手に文句を言わないこと。自チームの選手を罵倒するなどありえません。そして大会運営役員へは批判を受けない良い準備と対応を求めています。

スポーツは社会の縮図です。では、社会が悪いからスポーツも悪くなるのでしょうか。私は逆だと思います。スポーツは社会貢献できるものです。まずスポーツが核となって社会に発信していかなければならない…この想いで職務に邁進してきました。社会が良くなるためにスポーツ界が貢献できることを願ってやみません。

今後とも当協会へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「印象に残っているのは3種リーグの立ち上げでした」 ～前3種委員長・柏悦郎

今期を以て、3種委員長を退任することになった柏悦郎氏。旧与野市でサッカーを始め、日本体育大学を卒業後、中学校の教員となる。与野西中時代には川島永嗣選手を指導したことで知られている。選手としても活躍し、埼玉県教員サッカークラブではDFとして、国体優勝、さらには日本サッカーリーグ2部でも戦った経験を持つ。県中体連では若くして役職に就き、日本中体連サッカー競技部長、JFA第3種委員などを歴任した。

急な人事から20年

—日本サッカーが、特に中学生年代の指導環境が大きく変わる中で、長く大役を勤められてきました。本当にお疲れ様でした。

柏 ありがとうございます。ちょうど今年度を以て定年ということもあり、一つの節目ということで都所さん(亮介氏)に代わってもらいました。—ここまで20年以上になります。

柏 改めて確認したのですが、1997年にSFAの3種委員長と県中体連のサッカー競技部長に就任しました。これは急な人事でした。前年が日本中体連サッカー競技部の30周年記念で、その式典や記念誌製作はSFAの3種委員長と県中体連のサッカー競技部長で、かつ日本中体連サッカー競技部長でもあった富田聡先生が中心で行われました。それなのに年明けの三月に富田先生が浦和市教育委員会へ異動となり、様々な役職が私に回ってきたのです。あれから、もう20年を過ぎましたんですね。

—それは慌ただしい中で就任でしたね。しかし、そこから20年以上、3種年代の最前線で活躍されてきました。かつ日本中体連の部長も兼ねられ、多忙を極めたと思います。今の話に絡めますが、その当時は埼玉県の中学校が全国優勝、もしくは上位入賞するのは当たり前でした。それがJクラブの下部組織が発展していくことによって、Jクラブ、街クラブ、そして中学校という大きく言えば三極に分かれていくことになりました。その真っ只中にいらっしゃいましたが、まずはこの流れをどう捉えられていたのでしょうか。

柏 県内で見ると、中体連は全国でもトップレベルでしたが、すでにクラブ連盟があり、宮田さん(典男氏・元SFA理事/財務委員長)が理事長でした。ただ、まだまだ組織同士では交流が無かった時代でした。クラブ連盟としても、組織をしっかりと固めていこうという時期だったと思います。就任当時は中体連が主流でしたが、その後レッズとアルティージャのジュニアユースが力をつけ始め、その流れで街クラブにも選手が入るようになり、今に至るという感じでしょうか。

ただ、Jリーグができ、下部組織が充実していけばこうなっていくというのは、予想できたことです。確実に上手い選手は引っ張られていくのですから。個人的に、与野東中時代に全中へ出場した当時(2004年から3年連続)はまだ、中体連そのもののレベルが下がってきたという実感はありませんでしたが、すでに与野東中でもクラブとの対戦は厳しかったですね。その後、本太中へ赴任した際、3年生に山田直輝選手(浦和レッズ)がいましたが、(能力的に)抜けていましたね。特にあの年代は、高円宮杯でも優勝しましたし(2005年)。改めて、力関係が変わったことを感じました。

でも、振り返ると分岐点としては、千島くん(徹氏。元浦和レッズ)がいた浦和スポーツクラブが高円宮杯で優勝したところでしょうか(1995年)。あの時期に、クラブと中体連の勢力図は変わったような気がしますね。それでもあの時代は、グラウンドの無いクラブが中学に来て練習試合をしていましたから、お互い切磋琢磨できた時代でもありました。しかし、今では両方も試合日程が過密で交わる時間があまりありませんね。

「埼玉が遅れている」

—やはり激動でしたね。そんな中で、最も印象に残っていることはなんですか。

柏 3種リーグの立ち上げでしょうか。各種別でリーグ戦を整えていこうという中で、3種では先に関東リーグが始まりました。その下になる県リーグをどうするかということで、鈴木さん(勇氏。県クラブ連盟理事長)などクラブ連盟の皆さんと何度も議論しました。石川さん(賢一氏・東浦和中学校校長)にリーグ検討委員会の委員長、都所さんに副委員長になっていただき、結局、2～3年かかりましたね。毎月のように、当時勤務していた本太中で会議を行いました。布さん(啓一郎氏・当時JFAコースダイレクター。現、ザスパ草津

群馬監督)がわざわざやって来て「埼玉が遅れている」と言われたんですね(苦笑)。

中体連のチームはそうでもないのですが、街クラブにとっては県リーグ(当時は1部のみ)に入れるかどうかは大きな問題でした。また、リーグ戦に関するJFAからの助成金が2種とセットでしたから、こちらが遅れると迷惑をかけてしまうこともあり苦労しましたが、皆さんのご協力でなんとか形になりました。

現在、県リーグは11年目に入り、1部、2部、その下の3部については、クラブはクラブで、中体連は東西南北で展開しています。なお中体連は4部として市リーグまで広げて行っています。試合環境は整ってきたと思っています。とにかく、中体連とクラブではそれぞれ違う時期に大会があり、年間日程が違いますから、その調整が大変でした。また中体連とクラブのそれぞれの参加チーム数をどうするかなども問題でしたね。

—私もその会議に何度か参加させていただきましたが、大変な作業だったと思います。理想のリーグ戦はあっても、現実的に日程を考えたらできないのですから。両者が歩み寄ってきた形もよかったと思いますが、じっくり話をする場ができたのも収穫だったと思います。これも、もう10年以上前の話なんですね(苦笑)。

さて現在、中体連に関するというか、3種全体の問題として部活動の週休二日制が話題になっています。

柏 県内では戸田市がさっそく方針を出してきましたね。ただ、この年代はある程度の練習時間が必要です。影響は出てくると思います。しかし現状では、中学の教員が多忙で、平日の放課後は指導する時間はありません。土日が一番じっくり見ることができるだけに、中体連としては、今後の展開は不安です。なんとかして、練習の量と質は求めていかなければならないでしょう。

数年後どうなっているのか、想像することが難しいです。これにより、地域のクラブチームへ対する学校開放が必要とされるでしょうし、そういう外部団体の受け入れ態勢が問われることとなるでしょう。仮に、教員を家に早く帰したいというのであれば、中学校として地域の人たちとの関わり方が本当に重要になります。その中で部活動とクラブがいい形で交流できるようにしなければいけないのですが。

幸い、中学—さいたま市の場合になってしまっていますが、体育教師以外でサッカー経験者の若い教員が増えていきます。見てみると、一人ひとりにきめ細かく指導しており、いわゆる未経験の指導者は少ない状況です。ですから、生徒たちにとっては中学の部活でも満足できる環境が整いつつあると思います。彼ら若い教員には、部活の良さを伝えてほしいものです。

部活でも、まだまだやれることはある

—退任時期に、こういう大きな課題が出てきました。改めて、考えることができるのではないのでしょうか。

柏 3種としては、2種にどういい形でつなげていけるかが大きな課題です。ただし、3種年代においては、技術面だけでなく、人間性を高めることも必要なのです。そこで思うのは、教員だと、生徒たちの普段の生活を見ながら指導ができるんですね。朝の登校から下校までのところで、いろいろな情報が入ってきます。校内の教員全員がどこかで見てくれていますからね。成績の状況はもちろん、生活面もそうです。チームの中のリーダー候補には、わざと委員会活動に参加させたりしますが、それがサッカーにもいい影響を及ぼしています。そういうことができるのが、部活と連動するんですね。

クラブにはクラブのよさがありますが、やはり、中学生は部活の中で様々なことを学んでほしいと願っています。クラブに行く生徒たちから見て、部活も選択肢になるよう努力は必要だと思っています。

—最後に一言、いただけますか。

柏 今年の高校の関東大会の県予選で、立教新座高校が準優勝しました。多くの生徒が中学からの内部進学でした。この結果は、中学で基礎を作って高校につなげた成果ではないのでしょうか。まだまだ、部活でもやれることはあるということを証明してくれました。若い皆さんの活躍を期待しています。

—ありがとうございました。改めて、お疲れ様でした。しかし、まだまだSFAにも関わっていただけたらと思っています。これは一つの区切りではありますが、引き続きよろしくお願いします。

(インタビューー 荒川裕治)

技術委員会より

●「埼玉県サッカーコーチアカデミー2018」 受講者募集

埼玉県では、若い指導者が増え、指導力を高める研修の機会を求めている指導者が少なくありません。また、中堅の指導者の中にも、さらに指導力の向上に努めようとする指導者も多くいます。そこで、技術委員会では、浦和レッドダイヤモンズや大宮アルディージャの協力を得て、年間を通して定期的に指導者講習会を実施し、県内指導者の資質向上を期すことを目的に、コーチアカデミーを開催します。

第1回
日 時：7月21日(土) 19:00～21:00
テーマ：大宮アルディージャのディフェンスの考え方(講義)
講 師：大宮アルディージャ 横谷 亮氏
場 所：大宮アルディージャ志木クラブハウス
第2回
日 時：9月9日(日) 15:00～21:00
テーマ：ナショナルトレセンの落とし込み、JJPプログラム
講 師：浦和レッズ 土橋 正樹氏
場 所：レッズランド
第3回
日 時：9月22日(土) 19:00～21:00
テーマ：守備 チャレンジ&カバー
講 師：浦和レッズ 土橋 正樹氏
場 所：レッズランド
第4回
日 時：10月6日(土) 19:00～21:00
テーマ：攻撃 前線の崩し
講 師：浦和レッズ 土橋 正樹氏
場 所：レッズランド
第5回
日 時：10月20日(土) 19:00～21:00
テーマ：大宮アルディージャのディフェンスの考え方(実技)
講 師：大宮アルディージャ 奥野誠一郎氏
場 所：大宮アルディージャ志木グラウンド

※ 時間、場所は変更になる場合があります。

参加資格

- ・ 県内指導者(種別やライセンスは問いません)
- ・ 原則、全日程に参加できる者(特別の事情がある場合は除く)
- ※ トレセン指導者およびトレセン指導者を志すものは受講することが望ましい。
- ※ B級、A級コーチライセンスの取得を目指す者は受講することが望ましい。

参加費

各回 1,000 円(会場費、資料代、講師交通費など)

申し込み

直接、メールで、「埼玉県サッカーコーチアカデミーに参加」と書き、氏名、所属、携帯電話番号、PCアドレスを明記して送信して下さい。

締め切り

6月22日(金)

申込先メールアドレス

yama-dreams@wit.ocn.ne.jp

問い合わせ先

(公財)埼玉県サッカー協会コーチアカデミー

担当 / 越谷市立千間台中学校 山崎 勉

mail:yama-dreams@wit.ocn.ne.jp

tel: 090-8858-0940

● JFA公認B級コーチ埼玉県トライアル2018のお知らせ

自己推薦者及び種別推薦者で書類審査及び指導実践を実施し、総合評価上位者から順にJFAコース及びSFAコースに推薦します。

受講者条件

- ・ 2018年3月31日に満22歳以上であり、C級コーチを有し埼玉県内で指導実績を有する者で、技術委員会に関わる活動に今後協力できること。
- ・ 実技力・指導力共に優秀であり、信頼度の高い人物であること。

指導実践テーマ

- ①ポゼッション (パス&コントロール)
 - ②フィニッシュ
 - ③守備の基本 (チャレンジ&カバー)
 - ④ポゼッション (サポートの質)
- (上記すべての指導案を用意していただきます。)

埼玉選考会

9月24日(月) 埼玉スタ第4G 10:00～16:00

12月22日(土) くまびあG 10:00～13:00

12月23日(日) くまびあG 13:00～16:00

条件：9月24日は全員参加・12月22日と12月23日は人数によって決定します。

申し込み

別紙申込書(SFA公式ウェブサイトよりダウンロードすること)に必要な事項を記入し、写真を貼り下記へ郵送してください。指導実践の回数は人数により決定します。実技も受講生です。実技の準備もお願いします。

受講料

5,000円。初日に徴収いたします。(ポイントは入りません)

※ 合格した者は2019年度のB級を受講していただけます。

5泊6日で前期と後期があり、受講料12万円前後プラス宿泊費や教材費などがかかることをご了承ください。

書類送付締め切り

2018年8月10日(金)

送付先

〒347-8513 加須市不動岡1-7-45 不動岡高校 福田直史 宛

4種委員会より

●平成30年度第1回4種委員会キッズ会議報告

5月19日に大宮ソニックシティにおいて、「キッズ会議」が開催され、前年度報告と今年度の取り組みについての打ち合わせを行いました。以下、その要旨です。

【平成29年度結果】

- ・ U-8 フェスティバル報告
熊谷・坂戸・越谷(さいたまは中止)
※ 5月3日に開催されたユニクロキッズフェスティバルはJFA主催だった。
- ・ 巡回指導報告
小学校 50校 5,328人 幼稚園・保育園 17園 888人
- ・ キッズリーダー講習会
9コース 144人受講

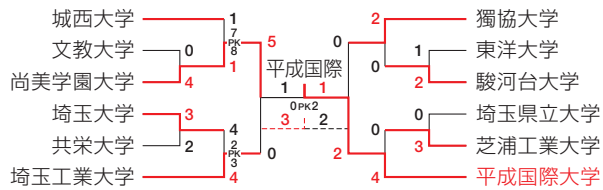
【平成30年度予定】

- ・ U-8 フェスティバル熊谷(7月1日)・坂戸(9月23日)・さいたま(1月27日)・越谷(3月2日)
- ・ U-6 ユニクロキッズフェスティバル in メットライフドーム(9月30日)
- ・ 巡回指導報告 小学校 50校(予定) 幼稚園・保育園 未定
- ・ キッズリーダー講習会 順次開催告知を行う。すでに浦和東高校55名から応募あり。
※ 今年度よりキッズリーダー養成講習会は満15歳以上で受講可能となった。

大会記録 ● 県内大会

1種大学

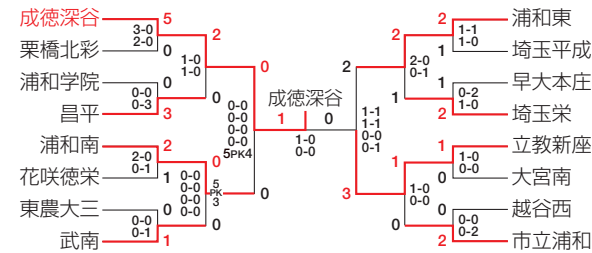
[アミノバイタルR]カップ2018 第7回関東大学サッカートーナメント大会 兼 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント埼玉県大会



※優勝した平成国際大学を含む上位3チームが関東大会に出場する。

2種・高校

平成30年度関東高校サッカー大会埼玉県予選



※東京成徳深谷は初優勝。準優勝の立教新座と共に6月に開催される関東大会へ出場する。



優勝 東京成徳深谷高校



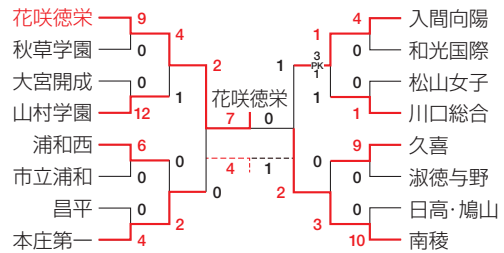
準優勝 立教新座高校



決勝 東京成徳深谷 vs 立教新座

女子

平成30年度学校総合体育大会(高校サッカー女子の部) 埼玉県予選



※花咲徳栄は2年連続3回目の優勝。高校総体出場を賭けて関東大会に出場する



優勝 花咲徳栄高校



決勝 花咲徳栄 vs 南稜

大会記録 ● 県外大会

1種

第45回関東自治体職員サッカー選手権大会

3月24日～26日 あけぼの山農業公園芝生広場

1回戦	さいたま市	4-1	ひたちなか市
	桐生市	2-3	所沢市
準々決勝	さいたま市	1-0	甲府市
	山梨県庁	1-1	所沢市
		(3PK5)	
準決勝	さいたま市	3-0	鎌倉市
	所沢市	0-3	藤沢市
3位決定戦	鎌倉市	6-1	所沢市
決勝	さいたま市	0-3	藤沢市

※さいたま市は準優勝で本大会へ出場する

2種・高校

第61回関東高等学校サッカー大会

6月2日～4日 正田醤油スタジアム群馬

●Aグループ			
1回戦	東京成徳深谷	3-1	古河第一
準決勝	東京成徳深谷	0-0	帝京第三
		(3PK1)	
決勝	東京成徳深谷	1-2	前橋育英
●Bグループ			
1回戦	東海大甲府	2-1	立教新座

※東京成徳深谷は準優勝



Aグループ 東京成徳深谷高校



決勝 東京成徳深谷 vs 前橋育英



2回戦 成徳深谷 vs 帝京第三

1回戦 成徳深谷 vs 古河第一



Bグループ 立教新座高校



1回戦 立教新座 vs 東海大甲府

3種

JFA 第22回全日本 U-15サッカー大会

5月3日～5日 J-GREEN堺

●1次ラウンド/グループC

大宮アルディージャ	0 - 3	ガンバ大阪
大宮アルディージャ	1 - 2	サガン鳥栖
大宮アルディージャ	1 - 2	サンフレッチェ広島

※優勝は清水エスパルスジュニアユース

4種

JA全農杯全国小学生サッカー大会 in 関東

3月17日、18日 鴨川市陸上競技場

●予選リーグ

Aパート	大宮アルディージャジュニア	4 - 0	前橋ジュニア
	大宮アルディージャジュニア	5 - 1	柏レイソルU-12
	大宮アルディージャジュニア	5 - 1	鹿島アントラーズノルテジュニア
Dパート	レジスタFC	6 - 0	tonan前橋U-12
	レジスタFC	6 - 0	三島FC(栃木県)
	レジスタFC	2 - 0	FC BONOS MEGURO(東京都)

●決勝トーナメント

準々決勝	大宮アルディージャジュニア	3 - 0	西原少年サッカークラブ(東京都)
	レジスタFC	2 - 0	ヴァンフォーレ甲府U-12
準決勝	大宮アルディージャジュニア	4 - 1	鹿島アントラーズつくばジュニア
	レジスタFC	1 - 0	パディーサッカークラブ(神奈川県)
決勝	大宮アルディージャジュニア	1 - 0	レジスタFC

※優勝した大宮アルディージャジュニアとレジスタFCは5月の本大会へ出場する。

JA全農杯全国小学生選抜サッカー決勝大会2018

5月3日～5日 日産スタジアム他

●予選リーグ

グループA	大宮アルディージャジュニア	5 - 0	比屋根フットボールクラブ(沖縄県)
	大宮アルディージャジュニア	1 - 0	会津サントスFCジュニア(福島県)
	大宮アルディージャジュニア	1 - 0	SSクリエイト(大阪府)
グループC	レジスタFC	4 - 0	旭丘フットボールクラブ(北信越代表/石川県)
	レジスタFC	6 - 0	SSS FC(中国第2代表/山口県)
	レジスタFC	2 - 0	カワイ体育教室サッカークラブ(東海第1代表/静岡県)

●決勝トーナメント

1回戦	大宮アルディージャジュニア	5 - 2	大山田サッカースポーツ少年団(三重県)
	レジスタFC	3 - 0	アリーバFC(宮崎県)
準決勝	大宮アルディージャジュニア	0 - 1	レジスタFC
決勝	レジスタFC	2 - 2	パディーSC(神奈川県)

(3PK2)

※レジスタFCは3度目の優勝

女子

第29回全国レディースサッカー大会

3月17日～19日 時之栖スポーツセンター

●1次ラウンド グループA

UILANI FC	7 - 0	沖縄県レディース
UILANI FC	3 - 0	岩手選抜
UILANI FC	3 - 0	鳥取レディース

●決勝トーナメント

準決勝	UILANI FC	2 - 0	広島FCレディース
決勝	UILANI FC	1 - 1	Legame(三重)

(5PK6)

※UILANI FCは準優勝となり、3連覇ならず。

第24回選抜高校女子サッカー大会「めめまカップ」in 熊谷

3月25日～29日 利根川総合運動公園サッカー場他

決勝	都立飛鳥	1 - 0	花咲徳栄
----	------	-------	------

※花咲徳栄は準優勝。以下、県内関係分…17位南稜、22位久喜、24位山村学園、27位本庄第一、32位熊谷女子、44位埼玉栄

第61回関東高等学校サッカー大会

6月2日～4日 群馬県立敷島公園サッカー・ラグビー場他

1回戦 星槎国際湘南 6-0 花咲徳栄

※優勝は前橋育英



1回戦 花咲徳栄 vs 星槎国際



1回戦 花咲徳栄 vs 星槎国際

シニア

2018年度 JFA 第17回全日本O-50サッカー大会関東予選会

4月28日、29日 押原公園グラウンド

●予選リーグ B組

ラツフォス古河FC 0-0 FC浦和シニア

FC船橋50 1-1 FC浦和シニア

FC渋川50 0-2 FC浦和シニア

●決勝 MITAKA EAGLES 0-1 FC浦和シニア

※優勝したFC浦和シニアは7月に開催される本大会へ出場する



優勝 FC浦和シニア

JFA 第18回全日本O-60サッカー大会

5月26日～28日 相馬光陽サッカー場

●1次ラウンド/グループC

宮城フェニックスSC 0-1 埼玉シニア60

埼玉シニア60 2-0 上田大星SCシニア

埼玉シニア60 2-1 藤枝FC

●決勝ラウンド

準決勝 埼玉シニア60 2-0 熊本シニア

決勝 兵庫県シニア60選抜 0-0 埼玉シニア60

(4PK3)

※埼玉シニア60は準優勝

インフォメーション

●2018 FIFAワールドカップロシア SAMURAI BLUE (日本代表)メンバー発表

5月31日、2018 FIFAワールドカップロシア SAMURAI BLUE (日本代表)メンバー発表がありました。埼玉関係者は以下の通りです。

監督 西野 朗 ※浦和西高

GK 1 川島 永嗣 (FCメス/フランス)

※与野西中一浦和東高

FP 20 槇野 智章 (浦和レッズ)

FP 6 遠藤 航 (浦和レッズ)

FP 17 長谷部 誠 (アイントラハト・フランクフルト/ドイツ)

※元浦和レッズ

FP 8 原口 元気 (フォルトゥナ・デュッセルドルフ/ドイツ)

※江南南サッカー少年団一浦和レッズジュニアユース一浦和レッズユース

◆6月19日(火) 21時～

第1戦 vs コロンビア代表 (Mordovia Arena)

◆6月24日(日) 0時～

第2戦 vs セネガル代表 (Ekaterinburg Arena)

◆6月28日(木) 23時～

第3戦 vs ポーランド代表 (Volgograd Arena)

※時間は日本時間

4月12日に西野朗さんが日本代表監督に就任しました。埼玉を代表して、世界に挑みます。ご声援ください。

●KIRIN CHALLENGE CUP 2018 埼玉から応援

5月30日、さいたま市浦和コミュニティセンター多目的ホールにて、日本代表 vs ガーナ代表戦をさいたま市内の高校生が応援しました。川島永嗣選手の母校である浦和東サッカー部80名、西野朗監督の母校である浦和西サッカー部70名、そして市立浦和サッカー部50名が参加して、日本代表に熱い声援を送りました。

川島選手、西野監督がアップになるたびに大きな歓声が起こるなど会場は盛り上がりましたが、試合はガーナ代表に0対2で敗戦。これからの調整に期待し、本大会での活躍を楽しみにしています。



●第3回埼玉フットボールカンファレンス2019

2019年3月21日、羽生市産業文化ホールにて第3回埼玉フットボールカンファレンス2019を開催することとなりました。1月より「Kickoff」からの申し込みになります。リフレッシュポイントは10となります。詳細につきましては、順次発表してまいります。多数のご参加をお待ちしています。

編集後記

いよいよロシアでのワールドカップが開幕します。電撃的に西野さんが日本代表の監督に就任してからここまで、なんだかあったという間でした。とにかく日本から声援を送りたいものです。

5月のスポーツの話題は、日本大学アメリカンフットボール部の事件で終始した感があります。フェアプレーというスポーツの根幹が揺らぎました。ただ、この事件から「スポーツとはなんだ?」という議論にまで広がっていないことが残念です。さらに言えば、アメリカンフットボールの競技特性が理解されないまま、報道されていたのも残念でした。ワンプレーワンプレーが「作戦」であるアメリカンフットボールは、

その「作戦」を成功させるために指揮命令系統は他のスポーツの追従を許さないとと言ってもいいでしょう。監督である指揮官の指示、命令は絶対なのです。選手の立場からすると、ある意味、サッカーとは真逆のスポーツと言ってもいいかもしれません。

逆に監督、指導者というのは、本当にアメリカンフットボールを理解し、相手チームの研究を怠らずさらに人間としてのモラルが問われるのです。この事件を通じてすべてのスポーツの指導者がわが身を振り返るきっかけになればと思うのです。

横山会長、星野副会長、お疲れ様でした。引き続き、ご指導ください。(荒川)